

現場測定器

ワイヤレス技術で進化

共立電気計器

共立電気計器は無線通信機能を搭載したサーモグラフィカメラ「KEW 5532W」の発売を今秋に予定しており、同時にモバイル端末対応測定記録アプリ「KEW Thermo (キューサーモ)」の公開を計画している。キューサーモは測定結果をモバイル端末の画面に可視画像や熱画像、これらの合成画像を表示し、データを保存できる。5532Wの底面のねじ穴に三脚や自撮り棒などを取り付けて使用することで、目線より高い位置や離れた場所の測定結果をモニタリングしたり、操作したりできる。また保存したデータをパソコン専用ソフト「KEW Thermo analysis (キューサーモアナリシス)」に取り込むことで熱画像上の任意の位置の温度が表示でき、解析や業務の効率化に貢献する。

測定者1人で現場対応

ワイヤレス技術を搭載した電子測定器のラインアップが増え、電気設備の施工や保守、メンテナンスなどのフィールド作業で活躍している。こうした測定器はハンドヘルド型で「現場測定器」と呼ばれ、電圧や電流などを計測する。機能や性能面に加え、無線通信技術によりスマートフォンやタブレット端末と連携する機器の投入が加速している。同時にアプリケーション（応用ソフト）による測定結果などの処理において、作業者や管理者の利便性を高めている。

現場測定器は近距離無線通信規格「ブルートゥース」などのワイヤレス技術を取り入れて、市場投入されるモデルが増加している。

現場測定器は電圧や電流、抵抗の値を測定するマルチ・メーターやクランプ・メーター、絶縁抵抗計、接地（アース）を測定する接地抵抗計のほか、照度計などがある。測定の目的や対象に応じた多くの測定器が用意されている。

スマホ・タブレット端末と連携加速

マルチメーターは直流（DC）と交流（AC）の電圧、電流、抵抗などの測定を1台で行える。測定値を指針で表示するアナログ

今秋には共立電気計器から、無線LANを搭載したサーモグラフィカメラが発売される。タブレットやスマートフォンで、測定した画像などをリアルタイムに表示したりデータ保存したりできる。サーモグラフィカメラは温度を面で測定することができ、異常箇所を寒暖色と数値で表示する。そのため配電盤内や設備機器など異常発熱の熱発生による箇所を可視化し、早期に発見する。共立電気計器はケー

タイプと、デジタルで表示するタイプがある。クランプメーターは配線を挟み込むことで、回路を切断することなく通電状態の電流を測定し大電流にも対応する。絶縁抵抗計は電気機器や電路の絶縁状態を調べる。

こうした現場測定器にワイヤレス技術を搭載することで、現場でも測定したデータをスマホやタブレットなどの端末に転送できる。この使いやすさや利便性、測定値を波形やグラフ表示する視認性などの記入者の2人が必要とされた現場が、測定望を反映し、作業効率

る。測定箇所が多い作業場での測定時間短縮や、手入力による記録ミスをなくすることができ、レポート作成なども容易に行える。またアプリは端末側の使いやすさや利便性、測定値を波形やグラフ表示する視認性などの記入者の2人が必要とされた現場が、測定望を反映し、作業効率

測定画像、即時に表示・保存

こうした現場測定器の劣化や端子緩みなど電気設備診断、生産ラインやモーターなど産業機械診断、太陽光パネル内の断線といった太陽光発電設備における保守・メンテナンスに向けて提案する。こうしたワイヤレス



サーモグラフィカメラで測定した温度画面（共立電気計器提供）

異常箇所をすばやく見つける！
鮮やかな画像と滑らかな動きで
見たまま測定 サーマグラフィカメラ

- 可視光・サーマル（熱分布画像）・融合 3種の画像モードが切り換え可能
- 最高温度、最低温度を同時表示、異常温度を一目で確認できる
- 高いフレームレート(25Hz)により、滑らかで動きに強い画像表示

共立電気計器株式会社

製品の使用に関するお問い合わせ

お客様相談室

0120(62)1172

